

ケース会議の実施

実施場所 中学校 相談室

実施時期 6月・9月

参加者 学級担任・特別支援教育コーディネーター
放課後等デイサービス職員1名、相談事業所相談員1名
交流学級の学級担任(9月)

目的 中学校や放課後等デイサービスでの生徒の様子を共有し、共通して取り組む課題を明確にする。

内容

- 中学校での様子や支援内容について伝える。
 - ・自学級での様子について
 - ・交流及び共同学習の様子について
 - ・休み時間の様子について
 - ・個別の教育支援計画、個別の指導計画について
 - ・進路について
- 放課後等デイサービスでの活動の様子を聞く。
- 共通して取り組みたい配慮について
 - ・生徒の実態から、共通して取り組む配慮や課題について連携を図る。
- 保護者からの相談について(相談員に対し、保護者から相談がある場合)

成果

- ・小学生の頃からの支援の様子を聞いて良かった。支援方法を相談し、共通理解できた。(学校)
- ・放課後等デイサービスの利用回数が少なく会えないので、最近の様子を知ることができてよかった。中学校に入ってからの成長が感じられてよかった。(放課後デイサービス)
- ・学校と放課後等デイサービスが支援情報を共有し、共通理解を図ることで、より良い支援が受けられてよかった。(保護者)